

# スマートソリューション・R&Dセミナー

- ICT研究開発で地域の課題に挑む -

2025年2月26日(水)  
13:30~17:00 **パネル展示: 16:00~17:00**

**会場** : 防災士研修センター

**参加無料**

会場:定員50名  
オンライン:定員200名  
(Zoomにて  
実施予定)

**申込**

右の二次元コードより  
お申込みください



申込締切: 2月24日(月)  
17時まで

## プログラム

13:30~13:35 **主催者挨拶 高地 圭輔** (総務省関東総合通信局 局長)

13:35~14:10 **基調講演 塚田 晃司** 氏 (和歌山大学 システム工学部教授)  
「通信・電力環境不利地域での利用を想定した森林エリアネットワーク」

14:10~15:20 **地域課題解決に向けた研究開発事例の紹介**  
①「AIによるヒヨコの性判定の実現性と地方中小企業が始めるグローバルニッチな海外展開」  
**中野 裕介** 氏 (有限会社電マーク 代表取締役)  
②「ドローンAI協調型海ごみ自動回収運搬ロボット」  
**園田 潤** 氏 (仙台高等専門学校 教授)

15:20~16:00 **総務省「持続可能な電波有効利用のための基盤技術研究開発事業 (FORWARD)」の説明**  
「情報通信研究機構 (NICT) による施策、Beyond5G」の説明

16:00~17:00 **パネル展示**  
ブース①「AIによるヒヨコの性判定の実現性と  
地方中小企業が始めるグローバルニッチな海外展開」  
ブース②「ドローンAI協調型海ごみ自動回収運搬ロボット」  
ブース③「Beyond5G」

研究者と直接  
意見交換できます

# プロフィール・講演概要



## 塚田 晃司 氏 (和歌山大学 システム工学部教授)

- 1996年 慶應義塾大学大学院理工学研究科 後期博士課程所定単位取得退学
- 同年 (株)日立製作所システム開発研究所
- 1999年 博士(工学)
- 2003年 和歌山大学システム工学部助教授、同准教授を経て、現在同教授
- 2020年 災害科学・レジリエンス共創センター長を併任、ネットワークサービス、森林エリアネットワーク、減災情報システムなどの研究に従事

## 基調講演

### 「通信・電力環境不利地域での利用を想定した森林エリアネットワーク」

日本は国土の多くを山間部が占め、通信環境、電力環境が脆弱な地域が多数存在する。それらの不利地域での利用を想定した情報通信インフラとして森林エリアネットワークを提案し、その実用化に向けた研究開発に取り組んでいる。

本講演では、和歌山県、北海道に設けた実証フィールドでの長期運用実験と、地域課題解決への適用可能性について紹介する。

## 研究開発事例①

### 「AIによるヒヨコの性判定の実現性と地方中小企業が始めるグローバルニッチな海外展開」

国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)委託研究において熊本県農業研究センター、広島大学と共同で「原種天草大王」、「九州ロード」の2鶏種を対象に肛門鑑別法に基づく性判定技術の開発に取り組んでいる。

プロトタイプとしてオンプレミス型の試作装置が完成し、現在、性能評価試験を実施している。

性能評価の後、地鶏種鶏の生産に取り組む国内の公設試験場や、アメリカ、グローバルサウス諸国の種鶏場などへ、本システムを販売していく。

## 中野 裕介 氏 (有限会社電マーク 代表取締役)

- 1998年 早稲田大学政治経済学部 経済学科卒業
- 2000年 有限会社電マーク 代表取締役
- 2003年 香川大学大学院工学研究科 博士前期課程修了
- 2018年 総務省「異能vation」平成30年度最終選考者
- 2024年 香川県ビジネスチャレンジコンペ2024 奨励賞受賞



## 研究開発事例②

### 「ドローンAI協調型海ごみ自動回収運搬ロボット」

海洋プラスチックに代表される海ごみ問題が世界的な問題になっており、海洋生態系や観光業への影響があるため、その回収は国内外で喫緊の課題となっている。

本講演では、ドローン空撮画像から人工知能AIにより海岸漂着物を自動検出することで海ごみ分布を可視化し回収の効率化を目指すとともに、人工衛星測位GNSSやレーザ測位LiDAR等を組み合わせ自動走行する海ごみ自動運搬ロボットについて紹介する。さらに、インフラ自動点検中レーダロボットへの応用や、4G/5G移動通信・低軌道LEO衛星通信を用いた遠隔操作化についても紹介する。



## 園田 潤 氏 (仙台高等専門学校 教授)

- 2005年 東北大学大学院環境科学研究科博士課程修了、博士(学術)
- 現在、仙台高等専門学校総合工学科教授
- 主として電磁波工学、計算電磁気学、リモートセンシングに関する研究に従事
- IEEE、電気学会、日本人工知能学会、日本地球惑星科学連合、日本自然災害学会、日本災害情報学会、リモートセンシング学会各会員

## 会場案内

### 防災士研修センター

住所：東京都千代田区九段南1-5-5  
九段サウスサイドスクエア9階

## 申込に関する問い合わせ先

事務局：(株)メディア開発綜研

メールアドレス：nishikawa@mdri.co.jp

電話番号：03-6263-2133

主催：関東総合通信局

共催：電子情報通信学会東京支部、情報通信研究機構(NICT)

